

現行セキュリティクラウドの概要

概要

三重県自治体情報セキュリティクラウドは、複数の団体からのインターネット接続を一つに集約し、高度なセキュリティ監視を行うことでセキュリティ対策を行うものであり、現在、本県や県内市町（29 市町）、広域連合（3 団体）の計 33 団体が利用している。

参加団体に対し、CDN、WAF、DDoS 対策、マルウェア/スパム対策、URL フィルタ、ふるまい検知、IDS/IPS 機能を提供している。

セキュリティ監視等を行うため、SOC 及び NOC を運用している。

上記セキュリティ監視の SOC とは別に、EDR に係る SOC を運用している。

機器等の構成

三重県自治体情報セキュリティクラウドの各機能は、クラウドサービスとして提供されている。

クラウドサービスは、三重県情報ネットワークと 1Gbps の専用線（帯域保障）で接続されている。

（現在帯域が逼迫していることから令和 7 年度に 2Gbps に増速する予定）クラウドサービスは、インターネットと 1Gbps（帯域保障）の回線で接続されている。

Web 会議等、大容量の通信を行うアプリケーションのため、3Gbps（1Gbps 帯域保障）のブレイクアウト回線を準備している。

参加団体は、三重県情報ネットワークを通じてクラウドサービスを利用している。

接続利用数は以下の通り。

利用者数：約 15,000 人

端末数：約 15,000 台

うち EDR 利用端末は 12,500 台

電子メールの月間の利用数については、以下の通り。

送信数：約 134 万件

受信数：約 1,900 万件

うち迷惑メール：1,700 万件

